広報



< 2・3面 > 119番通報のしくみ < 4面 > おいでよ!消防博物館へ! このビル大丈夫?…そう思ったら検索! 消防少年団に入ろう! Miniコラム ブレゼントコーナー



による外着を

高齢者の死者が増加

平成25年1月から6月までの東京消防庁管内における住宅火災による 死者のうち65歳以上の高齢者の割合が約7割以上で年々増えています。 特に「たばこ」火災による死者が突出して多く

18人のうち15人が高齢者です。



■死者計303人 …… うち高齢者139人(45.9%)

出火原因別死者数で最も多いのが「たばこ」です。飲酒時に喫煙し寝込 んでしまう等の「寝たばこ」により死者が多く発生しています。

出火防止 対策

- □ 寝たばこは、絶対にしない
- □ 灰皿は水を入れて使う
- □ 就寝前には、吸い殻の確認をする



■死者計96人………うち高齢者80人(83.3%)

ストーブにふとん等の可燃物が接触する火災が多く発生しています。 「ストーブ」による火災で亡くなる方の多くは高齢者です。

出火防止 対策

- □ ストーブの近くに燃えやすい物を置かない
- □ 外出・就寝前は必ず火を消す
- □ ストーブの上には洗濯物を干さない



■死者計90人………うち高齢者60人(66.7%)

「こんろ」による火災の大半は、火をつけたままその場を離れてしまうこ とで発生しています。

出火防止 対策

- □ その場を離れるときは、必ず火を消す
- □ こんろの周りに燃えやすい物を置かない
- □ 袖口や体が火に触れないように注意する

火災から身を 守るため 防炎品を





ていると認定された製品に はこのようなラベルが貼付 非防炎品 されています。

東京消防庁では、民生児童委員など地域の皆 様と連携して、高齢者や身体が不自由な方のお 宅を訪問し、防火防災に関するアドバイスを行っ ています。



-消防職員による防火防災診断の様子ー

■ 防 火 防 災 診 断 項 目 の 一 例 |

【火災予防】暖房器具やガスコンロなどの使用状 況、住宅用火災警報器の設置状況など

【地震対策】家具類の転倒・落下・移動防止対策の 実施状況など

【家庭内事故】階段、床等の転倒危険個所の状況、浴 室内事故の危険性など

訪問する場合は必ずご本人の同意をいただきます ご相談・ご質問等は、お気軽にお住まいの地域の消防署 にお問合せください。



▲平成25年秋の火災予防運動ポスター(モデル:石黒 賢さん)